



ミヤマスミレ

労働災害のない健康で明るい職場を作ろう

全国安全週間 7月1日～7日まで

2,809日 無災害継続中です(6月30日現在)

平成23年度全国安全週間スローガン

『安全は 家族の願い 企業の礎 創ろう元気な日本!』

平成23年度国有林野事業安全週間スローガン

「安全は いかなる時も最優先 過去の事例を思い出し 基本を守って安全作業!!」

局総務部長が当署を巡閲

6月21日(火)総務部長が来署し、職員訓示されました。冒頭、東日本大震災等対応において署一丸となり復興に取り組んでもらっていることに感謝すると共に、復興支援が地域から高い評価を受けていることについても話されました。また、次の3点について留意するように訓示されました。

- 1 労働安全の確保
- 2 綱紀の粛正
- 3 節電の徹底(目標ではなく達成すること)

特に、職員自らが厳しく行動を律するよう高い意識を強く持って物事に対処するとともに、国民の信頼が得られるよう適切な業務の遂行に全力を傾注してほしいと訓示されました。



蜂に注意

蜂の最盛期です。防蜂網・防蜂手袋の完全着用を!!

「あっぴ高原遊々の森」協定を更新

6月1日、「安比高原中の牧場」において八幡平市長、岩手北部森林管理署長、関係者約40人が参加し調印式を開催しました。平成18年6月1日に八幡平市と協定締結した、「あっぴ高原遊々の森」182.29haの協定期間が満了となったことから、平成28年5月31日まで協定更新したものです。当日は、安代小学校5年生25名が森林教室を開催しており、調印式にも参加し、5年生全員で「緑を守る」という誓いを参加者の前で力強く読み上げました。八幡平市は、森林管理署と共に、森林環境教育や学習の場として周辺的环境整備を進めることとしています。



(調印式を安比高原「中の牧場」で開催)

山地災害危険地区を緊急点検



(藤七温泉付近)

3月11日に起きた東日本大震災に関連し、震度5以上の市区町村に存在する危険度Aランク(当署は八幡平市が該当)箇所の緊急点検を6月8日から実施しました。山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、崩壊土砂流出危険地区内にある治山施設31箇所を点検した結果、異常のある箇所はありませんでした。

7月行事予定

・・・豆知識・熱中症になったら・・・

- 意識があったら、風通しの良い木陰など涼しいところに運び、寝かせて衣服をゆるめたり脱がせる。
- 体温が高いときは次の方法で体温を下げる。
 - ◇ 衣服をできるだけ脱がせて、体に水かける。
 - ◇ 水は常温できればぬるま湯がよい。
 - ◇ 蓄冷剤などを首・脇の下、股間の両側にあてる。
 - ◇ タオル、うちわなどで風を送る。
- 皮膚が冷たかったり、震えがあるときは、タオルなどで全身をおおい手足や体幹部をおおってマッサージを行う。
- 意識がない時や、反応が鈍い時はすぐに救急車を呼ぶ。必要があれば心肺蘇生法等の応急処置を行う。

- 1日(金) 岩手山山開き
- 4日(月) 安全大会
- 5日(火) 八幡平外来種駆除
キャンペーン
- 6日(水)・・・八幡平市環境審議会
- 9日(土) 分収育林見聞会
- 10日(日) 分収育林見聞会
- 12日(火) 自然環境観察講座
- 13日(水) 森林教室(田山小)
- 19日(火) 土木研修

